

事業所名

わくわくキッズルーム佐久平市役所前

## 支援プログラム

作成日

令和6年

10月

31日

法人（事業所）理念		多様な個性を持つ子ども達が、安心・つながり・成長を育み、誰もが幸せにいきる未来を共に創る。								
支援方針		障がい福祉サービスを通じて、利用者さまとスタッフが自分らしさを発揮して、いきいきと輝ける地域社会を創造していく。								
営業時間		9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	(児童発達支援事業所) なし	(放課後等ディサービス) あり
支 援 内 容										
本人 支 援	健康・生活	ICF（国際生活機能分類）の視点を取り入れて、健康面・生活機能の充実度を、「心身機能・構造支援」だけに囚われず、「社会参加支援」、「活動支援」、「環境・社会資源への働きかけ」を包括的に支援していきながら、健康面、生活面の向上につなげていきます。								
	運動・感覚	脳活のびのびトレーニング（手や足の使い方、体の軸、呼吸を大切にトレーニング）を実施していきます。体を動かし脳と心に刺激を加えることで、体と心のバランスを安定させ、「体の発達」・「運動の発達」・「心の発達」を三位一体とし、養育者の愛情や周りの人の援助を受けてすくすくと成長していくきっかけを作っていきます。								
	認知・行動	SST（ソーシャルスキルトレーニング）に基づいたレクリエーションを実施していきながら、「適切な認知」・「場面に応じた行動」を養っていく機会を提供していきます。また、必要に応じて公認心理師・臨床心理士による「認知行動療法」を実施していきます。								
	言語 コミュニケーション	個々の「言語能力」・「コミュニケーション能力」に応じて接遇していきます。必要に応じて、絵カード等を用いた視覚支援、身振り、手振りをういたりしながらの非言語コミュニケーションの活用。また、特性に配慮して適宜、「オープンクエッション（開かれた質問）」・「クローズクエッション（はいorいいえの閉じられた質問）」を使い分けながらコミュニケーションを図っていきます。								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行事・イベント・日常のレクリエーションを通して、仲間同士で非日常的な時間、楽しい時間を共有しながら「適切な人間関係の図り方」を学ぶと同時に、「社会性」を養っていきます。</li> <li>●事業所内支援に留まらず、地域の「社会資源」を活用したり、「地域交流」の機会を提供していきながら、「幅広い人間性・社会性」を養っていきます。</li> </ul>								
家族支援		「ご利用者」・「ご家族」・「事業所」を、それぞれ単体として捉えることなく、三位一体、包括的に捉え、「チーム（仲間）」として、常に日常と状況において共有認識を図りながら、協力し合いながら、問題解決と成長をしていきます。				移行支援		「自立」・「自律」を目標に掲げながら、これらに向けて必要な移行機関を利用者とチームで考え、模索しながら、主に「仲介役」として支援していきます。		
地域支援・地域連携		法人代表、児童発達支援管理責任者を中心に、「学校」・「行政機関」と連携しながら、常の地域の社会資源を開拓しながら、ご利用者・ご家族、当事者の方々にとって有益なものを仲介していきます。 【実績（令和4年1月：佐久平総合美術高等学校美術部との交流会，令和5年8月：信州プロレスとの交流会）】				職員の質の向上		月1回の頻度で内部研修・外部講師を招いての事例検討会，長野県施設支援係、長野県社会福祉士会による、障害者虐待の防止における研修を実施し、職員の質の向上を図っています。		
主な行事等		【2月】節分イベント【3月】送別会【4月】進級・進学祝い【8月】夏祭り【10月】ハロウィンイベント【12月】クリスマス会【その他】随時、ご利用者から希望を募りながら、行事・レクリエーションを立案。								